

刻なる不況の爲め、失業者繰出の結果事業の繼續困難となつた爲めである。新設されたる組合は、逓友同志會品川支部を中心とする品川購買組合である。

右の如く、差引二組合の減少となつたわけである。此外近く完全なる消費組合たるべきものに屋井乾電池消費組合及富士製鋼支部事業部がある。

前年度に比し二組合を減少したが、組合員數に於いては

關係消費組合一覽 (昭和五年八月現在)

名 稱	所 在 地	創 立	代 表 者	員 組 數	出 資 額	出 資 額	出 資 額	平 均 一 人	關 係 組 合	備 考
大崎消費購買組合	東京市外北品川	大正十四年八月十四日	福岡金次郎	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	東京鐵工	
セメント労働組合	川崎市田島町	大正十五年七月十五日	土井 直作	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	セメント労働組合	
品川購買組合	品川	大正十五年七月十五日	土井 直作	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	品川購買組合	
八王子労働組合	東京市西多摩郡	大正十五年七月十五日	戴崎 留吉	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	八王子労働組合	
消費組合	山形市西區	大正十五年七月十五日	今井松太郎	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	消費組合	
淺野造船消費組合	愛知県瀬戸市	大正十五年七月十五日	小川 辰三	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	淺野造船消費組合	
三河セメント	愛知県瀬戸市	大正十五年七月十五日	由良多一郎	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三河セメント	
神奈川鐵工消費組合	川崎市田島町	昭和二年	川名 林藏	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	神奈川鐵工	
製鋼労働消費組合	川崎市田島町	昭和二年	川名 林藏	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	製鋼労働消費組合	
品川購買組合	品川	昭和二年	小俣泰次郎	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	品川購買組合	
淺野造船消費組合	品川	昭和二年	小俣泰次郎	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	淺野造船消費組合	

僅か六十名、一ヶ月平均賃上高に於いて三百十四圓〇七錢の減少に過ぎず、出資口數に於いては四口、拂込済出資金に於いては一千百六十六圓七十二錢の増加を示して居る。

不景氣の深刻化に連れて、事業休止のものが現はれたが一面に於いては、組合員が消費組合を利用する率は増進する傾向が一般に認められる。

名 稱	所 在 地	創 立	代 表 者	員 組 數	出 資 額	出 資 額	出 資 額	平 均 一 人	關 係 組 合	備 考
東京市北品川	東京市北品川	昭和二年四月	杉浦 源次	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	東京市北品川	
三ツ木九六七	三ツ木九六七	昭和二年四月	杉浦 源次	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三ツ木九六七	
七軒町七	七軒町七	昭和二年四月	津田宇三郎	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	七軒町七	
計				三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇		

關係生産組合 (昭和五年八月現在)

名 稱	所 在 地	創 立	代 表 者	員 組 數	出 資 額	出 資 額	出 資 額	平 均 一 人	關 係 組 合	備 考
日本鐵工組合	東京市北品川	昭和二年四月	杉浦 源次	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	日本鐵工組合	
産業部	三ツ木九六七	昭和二年四月	杉浦 源次	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	産業部	
前年度対比				△五	△八	●一四八〇〇	●一三〇九〇			

生産組合は、日本鐵工組合産業部一箇に止まるが、その事業成績は拂込出資金に於いて一千百四十八圓を増して居る成績を示して居る。

其生産高に於ても多少の増額を來して居り大體良好なる

共 濟 事 業

むを得ない。故に同盟事業部は、別箇の如く執行委員會議事會の承認を得て、關東同盟共濟相互金庫の規約を起草した。これは、前年の大會決議に基づくものである。この「金庫」は、見舞金程度でなく「保險」的内容を有せしめんとするものである。